

くすり一口メモ

## SSRI使用時の併用禁忌及び併用注意薬剤について

新しいタイプの抗うつ薬として、選択的にセロトニンの再取り込みを阻害するSSRI、セロトニンに加えノルアドレナリンの再取り込みも阻害するSNRIが登場しました。これらは従来の抗うつ薬にみられる抗コリン作用による副作用（便秘、口渇、排尿困難）や眠気、などが少ないのが特徴となっています。

ところがSSRIは薬物代謝酵素阻害作用を持っており、併用注意の薬剤が多くあります。

そこで今回は、現在日本で発売されているSSRIにおける、併用禁忌薬剤と併用注意薬剤を下記にまとめました。

《併用時に注意が必要な薬剤》

ルボックス デプロメール	パキシル	薬 効	薬 剤 名	分 類
		MAO阻害薬	エフピー	併用禁忌・併用原則禁忌
		抗精神病薬	メルリル	
		抗躁薬	炭酸リチウム	併用注意
		セロトニン作用薬	イミグラン,ゾーミグ,レルパックス,マクサルト	
	抗てんかん薬		アレピアチン	
			テグレート	
			フェノバル	
	三環系抗うつ薬		トフラニール, トリプタノール	
			アナフラニール	
			ノリトレン	
	ベンゾジアゼピン系薬剤		コンスタン, ソラナックス, レキソタン, セニラン, セルシン等	
			遮断薬	
		キサンチン系 気管支拡張剤	テオドール	
		免疫抑制剤	サンディミュン	
		クマリン系抗血液凝固剤	ワーファリン	
		L-トリプトファンを含有する製剤	アミノ酸製剤, 経腸栄養剤	
		フェノチアジン系抗精神病薬	ピーゼットシー, トリラホン, リスパダール	
		抗不整脈	プロノン, タンボコール, キニジン	
		H2 ブロッカー	タガメット	
		ジギタリス製剤	ジゴキシン	
		アルコール		

参考 『治療薬マニュアル 2004』  
(鹿児島市医師会病院薬剤部 服部安希子)